

テロ・水際の有事を防げ！ 津港保安委員会がテロ対策合同訓練を実施

津消防タイムズ

第36号



テロ対策等、水際対策に対応した各機関の訓練の様相

発行 津市消防本部
〒514-1101
津市久居明神町 2276

編集 消防総務課
企画広報担当
TEL 059-254-0353
FAX 059-256-7755

協力 津市防火協会

火災などの
お問い合わせ
☎224-1881
救急医療情報案内
☎256-1199

○津港保安委員会が テロ対策合同訓練を実施

国際的な犯罪が増加する中、
港湾での有事を想定した「テロ
対策合同訓練」が十一月二十七
日、津市雲出鋼管町の伊倉津埠
頭で行われました。

この訓練は、津市消防本部を
はじめ、津南警察署、第四管区
海上保安部、名古屋税関四日市
税関支所など、官民十六機関で
構成する津港保安委員会が、テ
ロをはじめとする国際組織犯罪
に対応した危機管理体制の強化
を図るため毎年開催しているも
ので、今年は一五〇人が参加し
て、海上訓練と陸上訓練の二部
構成で行われました。

第一部の訓練は、津港に停泊
中の外国籍貨物船にテロリスト
が潜伏しているとの想定で、空
砲や海上保安庁のヘリでの制
圧、救出訓練など、実践さなが
らの緊迫した雰囲気で行われま
した。

→津市消防本部のB
C災害対応除染シヤ
ワー装置



←負傷者を搬送する
津市消防職員と除染
作業に向かう津南警
察職員

第二部の陸上での訓練は、
BC（細菌・化学兵器）災害
を想定して行われ、化学防護
服を装備した、津市消防本部
職員による負傷者の救出や、
津南警察職員による除染作
業等が行われ、名古屋税関職
員は、X線検査装置を用い
て、不審なアタッシュケース
の検査等を行いました。

訓練後、福島隆司津南警察
署長は、「二〇〇一、二〇〇
五年と四日市市において密
航するという事案が発生し
ており、今後とも水際対策に
は各関係機関協力して連携
を図って欲しい」と述
べていました。



○危険物移動タンク貯蔵所 を立入検査

危険物移動タンク貯蔵所(タンクローリー)による危険物の移送における事故防止のため、市内二箇所(十一月二十七日、津市消防本部、三重県、三重県警察本部)が合同で、タンクローリー等の路上検査を実施しました。

今回の立入検査はガソリン・劇毒物・高圧ガス等を運ぶ車両を停車させ、積載書類の確認、消火設備、車両への標識等の掲示などを検査し、基準等に違反した車両に対して、改善指導を実施しました。

危険物の移送・取扱者に対して、法令等に違反した粗雑取り扱いを行うと、重大な事故に繋がり、瞬時にして多くの生命や



↑タンクローリーの立入検査を行う津市消防本部の予防課職員

財産を奪う恐れがあるので、細心の注意をするよう指導しました。

危険物等を取扱う事業所の方にはもちろん、一般家庭のみならずも危険物を取扱う際は、細心の注意を払い、事故や災害を未然に防ぎましょう。

○三重県綱引選手権で 津消防綱引チーム四連覇

芸濃総合文化センターアリーナ(津市芸濃町椋本)で十二月七日、第二十六回三重県綱引選手権大会が開催されました。

津消防綱引チームは、消防職員の有志で結成され、一般男子の部に出場し、見事に優勝し四連覇を果たしました。

今回の大会は、全日本綱引選手権大会の予選も兼ねており、優勝した津消防綱引チームは、平成二十一年二月二十二日(日)に千葉県千葉市ポルトアリーナで開催されます全日本綱引選手権大会に三重県代表として出場します。全国大会でのチーム目標は昨年がベスト8でしたので、

今回はそれ以上の成績を！合言葉に、休日等の合間を使い、猛練習に励んでいます。



↑競技を行う津消防綱引チーム

○年末年始の特別消防警戒 を実施しています

平成二十年もあと僅かとなり、市民生活が活発となる年末年始は、火災等の危険性が高くなることを受けて、津市消防本部では、平成二十年十二月十五日から平成二十一年一月十五日までの間、年末年始特別消防警戒を実施しています。

各種災害の事故防止や大型物品販売店への立入査察、火災予防広報など、年末年始も地域の安全・安心を守るため実施しておりますので、職場・家庭での防火・防災にご協力いただきますようお願いいたします。

○のべの幼稚園で 防火パレードを実施

十二月十二日、のべの幼稚園(津市久居二ノ町)の園児九十五人が同幼稚園周辺で防火パレードを実施しました。

このパレードは、年末における火災予防を訴えようと、同幼稚園が毎年行っているもので、津市消防本部の消防車両などが先導し、園児らが「火の用心」を呼びかけました。

パレードの見学に集まった住民からは、「寒くなり火を使う機会が多くなってきたので、充分注意したい」と語っていました。



↑揃いの法被を着てパレードを行うのべの幼稚園の園児

特集！ 明日を担う精鋭の消防士！



○二十名精鋭が配属されました！

本年四月に消防職員として採用された二十名が、三重県消防学校（鈴鹿市石薬師）にて約八ヶ月間の研修を終え、十二月十五日から現場配属されました。

この八ヶ月間、全寮制の三重県消防学校で、消防士としての基礎知識や実務訓練に励んできました。研修修了の卒業式では、県内の研修生一〇名の中から優良賞に稲垣孝典消防士、優秀賞に田上祐馬消防士と小林隆幸消防士が選ばれました。

今回配属された二十名の抱負を伺いましたのでご紹介します。【○内は配属先】

▼池田敦（美杉分署 忍耐）
▼稲垣孝典（北署）信頼される消防士を目指します ▼井上拓也（南分署）一人でも多くの方に役に立てよう頑張ります ▼小川浩史（安濃分遣所）警防・救急・救助等の業務について、一日でも早く一人前の実力を身に付けられるように努力したい ▼川口兼（中署）市民に安心を与えられるような消防士になり

たい ▼北折壮平（美里分遣所）津市を安心・安全な街にするため全力を挙げて勤務していきたい

▼久保田芳史（南分署）市民の立場になって行動できる職員でありたい ▼小林隆幸（白山署）市民の方々に信頼されるような消防士になりたい ▼鈴木悠介（美杉分署）市民の役に立てよう頑張りたい ▼田上祐馬（久居署）市民に必要とされる消防官になりたい ▼田中暁（一志分署）市民の方に安心感を持つていただけるような消防職員を目指します ▼堤裕紀（安濃分遣所）市民に信頼される職員になりたい ▼中峯宏（北署）少しでも早く一人前の消防士になれるように必要な知識をどんどん身に付けたい ▼前川達哉（白山署）人命を救助するという強い意志 ▼水平拓（美里分遣所）市民の顔から不安な表情を消せる消防職員になりたい ▼溝口裕紀（一志分署）市民から信頼される消防士になれるよう頑張ります ▼山岡卓巳（久居署）自分の持っている全てを出して頑張ります ▼山

本貴之（中署）学校で学んだ事を現場で使えるよう頑張りたい ▼川喜田陽平（久居署）救急に力をいれ、全ての患者さんに安心感を与えられる隊員になりたい。また消防の事務を早く正確に身につけ、先輩方に追いつけるよう頑張りたい ▼椿麻衣（久居署）自分の夢だった「優しくて安心感の与えられる消防士」に一日でも早くなれるように頑張りたい。また、市民と消防との信頼関係を築く架け橋になりたい。



↑各所属に配属された平成20年度採用消防士

これから地域の皆様の安心・安全を守るため、第一線での若い精鋭として活躍されること期待しています。

※今号予定していました、「所属紹介！通信指令課」は改めて特集いたします。

○緊急消防援助隊中部

ブロック合同訓練を実施

中部七県の消防本部（三重県・愛知県・富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県）は、大規模災害時に連携して対応できるよう、緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練を十二月五日から六日の二日間、四日市市霞一丁目の会場を中心に行いました。

この訓練は、四日市市付近において直下型地震が発生し、甚大被害が出ているとの想定で、各地の五十四消防本部と日本赤十字社など十八協力機関から約六百八十人が参加し、列車事故や危険物タンク火災等、さまざまな想定での訓練を二日間にかけて行いました。

津市消防本部からは消防車両六台、職員十七名が参加し、訓練事務局を担当した消防救急課佐藤昭人消防司令は、「的確に訓練が行われたと思う。危惧されている東海・南海・東南海地震等、万一の時に被害を最小限に抑えられるよう、今後も関係機関と協力・連携体制を強化していきたい」と述べていました。

消防署だより

名所・歴史紹介

久居消防署 一志分署

○延命寺の石棺

津市一志町にあるこの石棺は、六世紀に作られ、寛政十二年（一八〇〇年）八月に井関平岩の奥田勝次氏の祖先が倉庫を建てる時に屋敷内より発掘されました。

その際石工により割りを入れ、掘り出したところ石棺と判明したもので、棺内に三寸（約十センチメートル）の観音像とさびた太刀が納まっています。観音像の尊体は直ちに平岩内の人々により延命寺に移され、観音像は薬師堂内に、石棺は境内に安置され、現在に至ります。

ほとんど完全な形をした石棺であることから、県内でも貴重な例として、昭和三十年（一九五五年）に県の文化財に指定されました。

機会があれば、参拝も兼ね、その歴史に触れてみてはいかがでしょうか。（中嶋一晃）



↑延命寺境内に安置された石棺（津市一志町井関）



カメラアングル

→十一月五日～六日、緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練に参加した津市消防本部の車両



←美里町南長野地区で綺麗なイルミネーションの点灯が始まりました。一月十二日まで点灯される予定です

ご家庭に住宅火災警報器を設置しましょう！
消防法の一部改正及び火災予防条例の改正により、平成20年6月から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。



～ 11月中の災害 ～
火災 6件 (113件)
救急 963件 (10,324件)
救助 14件 (124件)
() 内はH20年累計

○編集後記

十二月十二日、今年の世相を象徴する漢字として、「変」が選ばれた。清水寺（京都）で発表されました。これは、日本漢字能力検定協会が毎年発表しているもので、応募を通じて、今年の漢字を選定するものです。

振り返ると、急激な原油高や激動する株価に金融危機、農薬入り餃子による食の安全に対する国民意識の変化、首相交代や米大統領選挙など政治的な変化も多く見られる年だった気がします。

少し暗い話題が多かった年ですが、北京五輪では津市出身の吉田沙保里選手らが九つの金メダルと総数二十六個のメダルを獲得するなどスポーツの年でもありました。

来年は少しでも明るい話題が増えるといいですね。年末年始も防火・防災に努め、良いお年を迎えられることをお祈り申し上げます。（大東雄一）

☆ 主な行事予定 ☆
・平成20年12月29日（月）
年末消防警戒 津市長巡視（津市内全域）
・平成21年1月11日（日）
平成21年度消防出初式（津リージョンプラザ・お城公園）
・平成21年1月26日（月）
文化財防火訓練（高田本山尊修寺境内）
※消防庁長官、文化庁長官視察予定